

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第41週の発生動向

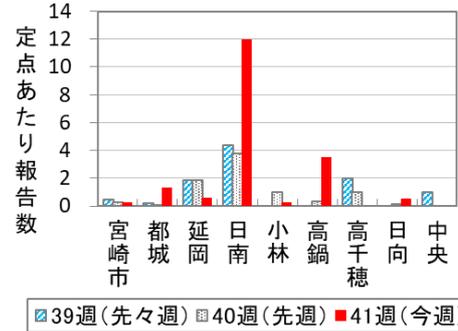
トピックス

・インフルエンザ(定点把握対象の疾患)

第41週では宮崎県全体の定点あたり報告数(1.8)が、流行開始の目安となる(1)を超えた。先週(0.79)と比較して、約2.3倍であった。

保健所別では、日南(12.0)、高鍋(3.5)、都城(1.3)保健所管内からの報告数が多かった。今後の動向に注意が必要である。

インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



全数報告の感染症 (41 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。
- 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：日本紅斑熱 3 例。
- 5 類感染症：ウイルス性肝炎 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例、梅毒 5 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	男	肺結核	咳
			50歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			50歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
4類	日本紅斑熱	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常
			80歳代	女	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常
		小林	80歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	10歳代	女	CMV	全身倦怠感、発熱、肝機能異常
	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	宮崎市	80歳代	男	—	ショック、肝不全、腎不全、軟部組織炎
		延岡	70歳代	女	—	ショック、肝不全、腎不全
	梅毒	宮崎市	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹
			50歳代	女	晩期顕症梅毒	神経症状
		都城	30歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		高鍋	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	初期硬結、梅毒性バラ疹
		中央	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
百日咳	宮崎市	30歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1186人(定点当たり32.7)で、前週比114%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、手足口病で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は94人(1.6)で、前週比63%と減少した。日向(4.3)、延岡(3.4)、都城(1.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約4割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

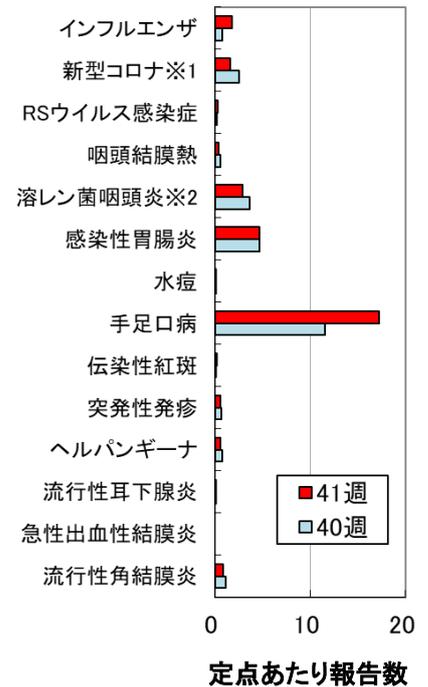
報告数は105人(2.9)で、前週比80%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.6)の1.8倍であった。日南(5.3)、宮崎市(5.2)、延岡(4.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は5歳から8歳が全体の約半数を占めた。

【手足口病】

報告数は620人(17.2)で、前週比149%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.6)の約6.6倍であった。宮崎市(28.4)、延岡(25.5)、中央(22.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約7割を占めた。

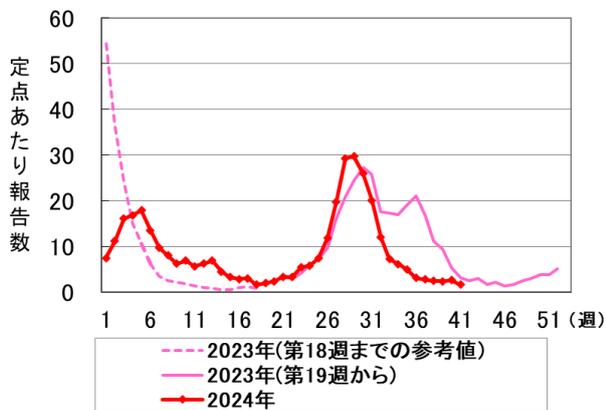
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

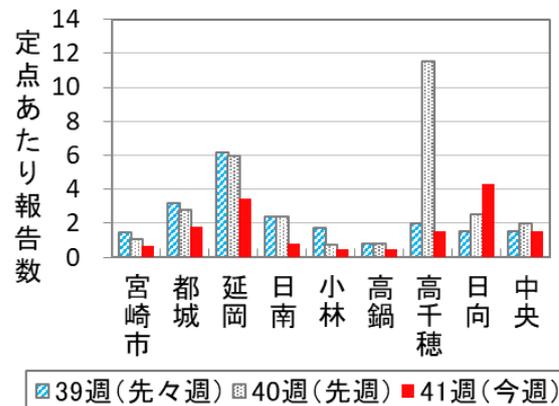


※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

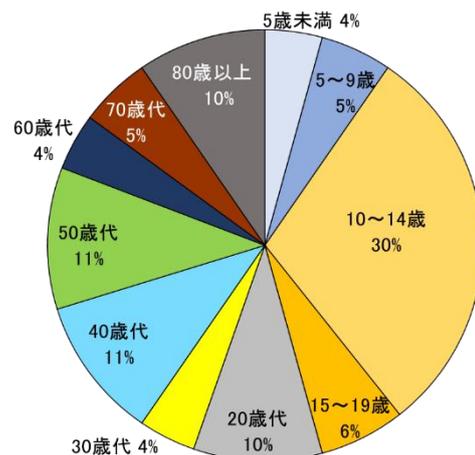
新型コロナウイルス感染症 発生状況



新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

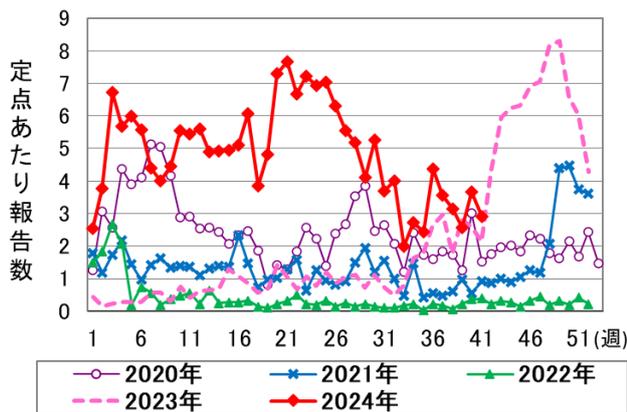


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第41週)

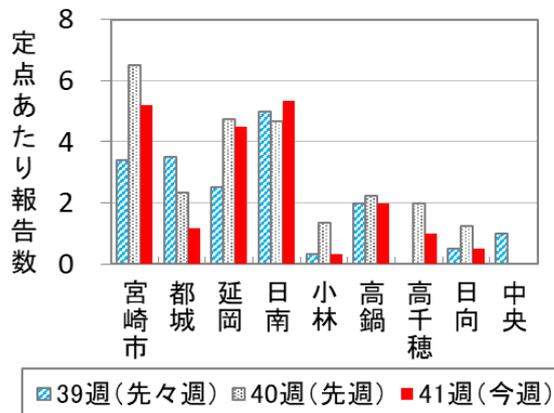


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

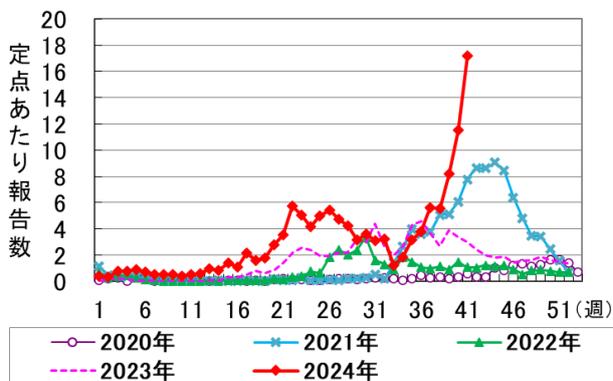
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



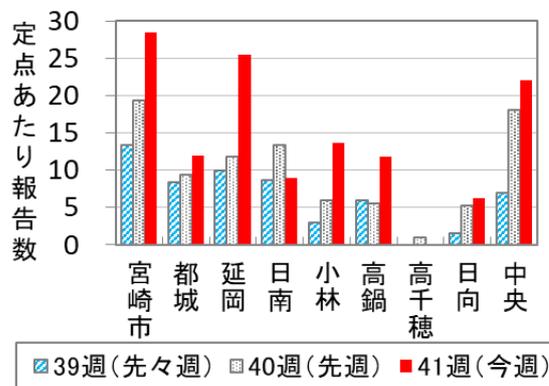
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市(6例)、日向(2例)、延岡(1例)、高鍋(1例)保健所から報告があった。年齢は5～9歳が4例、10～14歳が3例、0～4歳が2例、20歳代が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(28.4)
都城	手足口病(12.0)
延岡	手足口病(25.5)
日南	インフルエンザ(12.0)、手足口病(9.0)
小林	手足口病(13.7)
高鍋	手足口病(11.8)
高千穂	なし
日向	手足口病(6.3)
中央	手足口病(22.0)

※流行警報レベル開始基準値※

・手足口病(5)

※流行注意報レベル基準値※

・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和6年10月14日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	70歳代	男	2024.09.05	水様性下痢、発熱	便	2024.09.12

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Coxsackie virus B2	0～4歳	男	2024.08.22	ウイルス性髄膜炎、39.3℃、黄疸	便 髄液	2024.10.10

✚ 全国 2024 年第 40 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	257 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	94 例		
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	3 例	エキノкокクス症	1 例
	つつが虫病	2 例	デング熱	4 例	日本紅斑熱	18 例
	日本脳炎	2 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	45 例
	レプトスピラ症	6 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	43 例
	急性脳炎	5 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	17 例	後天性免疫不全症候群	14 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	29 例	水痘(入院例)	6 例
	梅毒	232 例	破傷風	4 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例
	百日咳	133 例	麻しん	2 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 106%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 15,195 人(3.1)で前週比 86%と減少した。茨城県(5.5)、岩手県(4.9)、千葉県(4.8)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

手足口病の報告数は 27,084 人(8.6)で前週比 106%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.3)の約 6.6 倍であった。愛媛県(23.6)、山形県(22.5)、宮城県(22.0)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 5 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2024年9月>

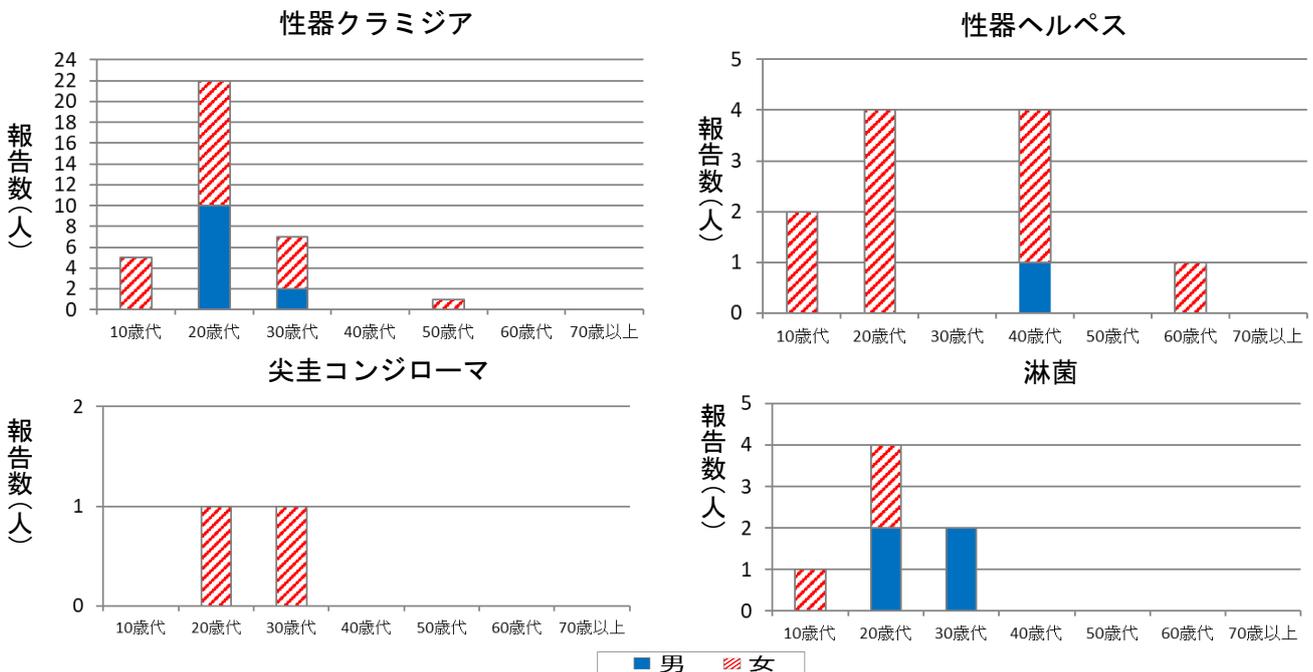
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は55人(4.2)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。また、昨年9月(3.3)の約1.3倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数35人(2.7)で、前月の約1.5倍、昨年9月の約1.6倍であった。
20歳代が全体の約6割を占めた。(男性12人・女性23人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数11人(0.9)で、前月の0.5倍、昨年9月の1.1倍であった。
(男性1人・女性10人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.2)で、前月の2倍、昨年9月と同率であった。
(女性2人)
- 淋菌感染症：報告数7人(0.54)で、前月の約0.6倍、昨年9月の約0.8倍であった。
(男性4人・女性3人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,669人(4.8)で、前月比101%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,596人(2.6)で前月比103%、性器ヘルペスウイルス感染症834人(0.85)で前月比98%、尖圭コンジローマ519人(0.53)で前月比104%、淋菌感染症720人(0.73)で前月比96%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は33人(4.7)で、前月比144%と増加した。また、昨年9月(3.0)の約1.6倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数30人(4.3)で、前月及び昨年9月の約1.4倍であった。70歳以上が全体の7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数3人(0.43)で前月の3倍であった。(昨年9月報告なし)
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,282人(2.7)で、前月比92%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,230人(2.6)で前月比92%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症45人(0.09)で前月比82%、薬剤耐性緑膿菌感染症7人(0.01)で前月比50%であった。

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2024年 第41週(10月07日～10月13日)

疾病名		第40週	第41週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	46	106	4	13	4	60	1	21		3	
	定点当り	0.79	1.83	0.25	1.30	0.57	12.00	0.25	3.50	0.00	0.50	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	149	94	11	18	24	4	2	3	3	26	3
	定点当り	2.57	1.62	0.69	1.80	3.43	0.80	0.50	0.50	1.50	4.33	1.50
RSウイルス感染症	報告数	6	10	3	4				2		1	
	定点当り	0.17	0.28	0.30	0.67	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	21	13	1	7	1			1		3	
	定点当り	0.58	0.36	0.10	1.17	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.75	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	132	105	52	7	18	16	1	8	1	2	
	定点当り	3.67	2.92	5.20	1.17	4.50	5.33	0.33	2.00	1.00	0.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	167	167	57	27	6	17	18	18	1	17	6
	定点当り	4.64	4.64	5.70	4.50	1.50	5.67	6.00	4.50	1.00	4.25	6.00
水痘	報告数	4	5	3	1				1			
	定点当り	0.11	0.14	0.30	0.17	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	416	620	284	72	102	27	41	47		25	22
	定点当り	11.56	17.22	28.40	12.00	25.50	9.00	13.67	11.75	0.00	6.25	22.00
伝染性紅斑	報告数	5	9	5		4						
	定点当り	0.14	0.25	0.50	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	24	20	7	2	4	3	3	1			
	定点当り	0.67	0.56	0.70	0.33	1.00	1.00	1.00	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	28	20	2	1	7	3		5		2	
	定点当り	0.78	0.56	0.20	0.17	1.75	1.00	0.00	1.25	0.00	0.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	2		1	1						
	定点当り	0.03	0.06	0.00	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	5	4	1							
	定点当り	1.17	0.83	1.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	12	10	6		1			1		2	
	定点当り	1.71	1.43	6.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00		2.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～41週 保健所受理分)

2類感染症	結核	93例(5)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	34例		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	12例(3)
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	3例(1)
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15例(2)
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	侵襲性肺炎球菌感染症	14例
	梅毒	123例(5)	播種性クリプトコックス症	3例
	百日咳	44例(1)		
			重症熱性血小板減少症候群	7例
			レジオネラ症	10例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
			後天性免疫不全症候群	2例
			水痘(入院例)	5例
			破傷風	2例

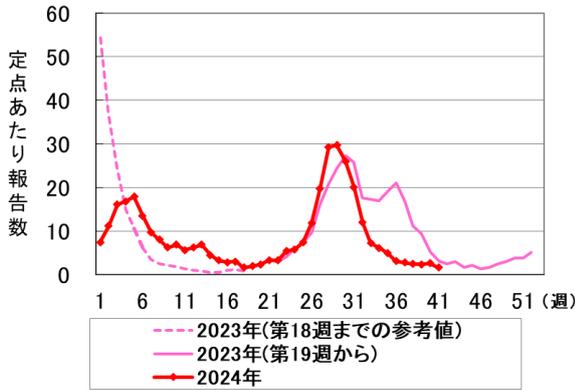
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第41週、全国第40週（再掲）》

□ 県内第41週 新型コロナウイルス感染症発生動向

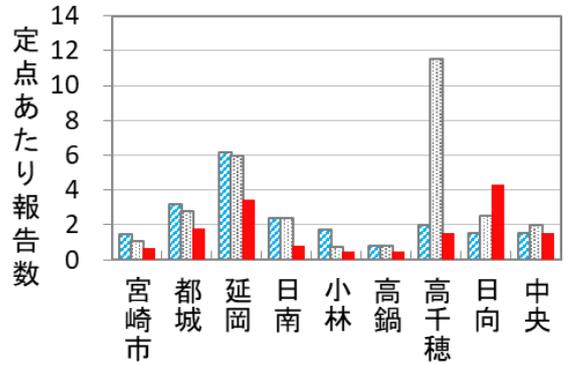
10月7日～10月13日までの1週間で94人(1.6)の報告があり、前週比63%と減少した。日向(4.3)、延岡(3.4)、都城(1.8)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

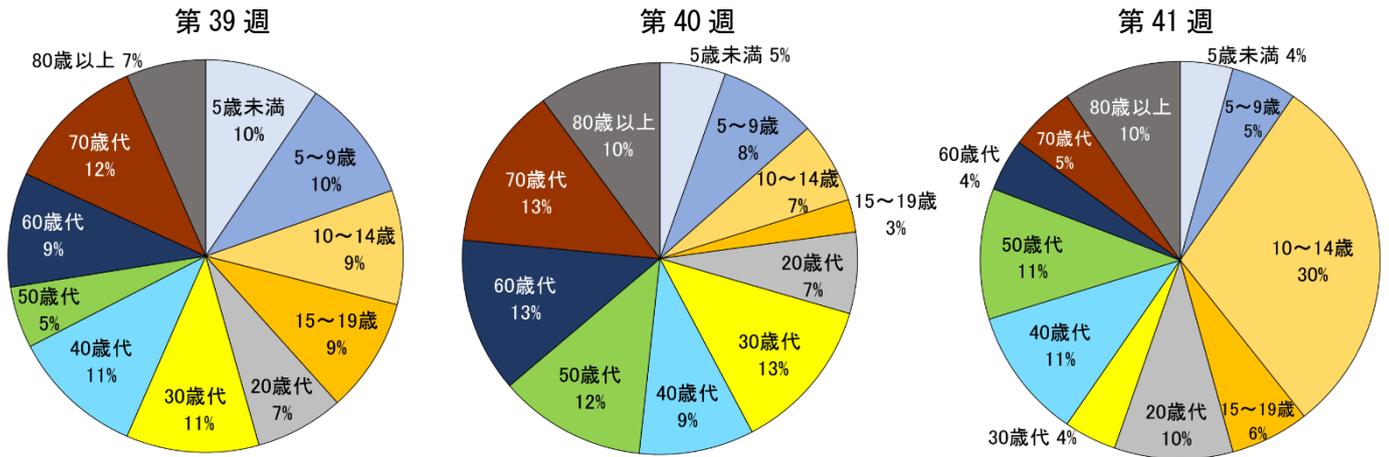


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

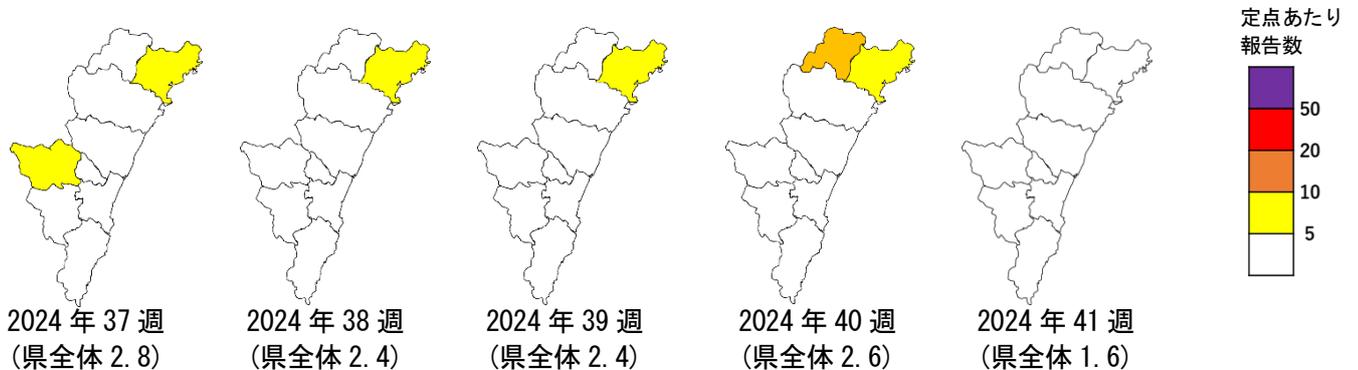
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第37週～2024年第41週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第40週 新型コロナウイルス感染症発生動向

9月30日～10月6日までの1週間で15,195人(3.1)の報告があり、前週比86%と減少した。茨城県(5.5)、岩手県(4.9)、千葉県(4.8)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約2割を占めた。